

# 民報 ゆうばり

# 安倍政権の暴走ストップ!

## 総選挙＝政治を変えるチャンスです!



### 消費税・戦争・原発・TPP 国民の声そつちのけ 共産党大きく伸ばして暴走ストップ

11月18日、日本共産党北海道10区選対本部は記者会見し、総選挙政策を発表しましたのでその大要を紹介します。

11月18日、日本共産党北海道10区選対本部は記者会見し、「解散劇」は、安倍総選挙政策を発表しましたのでその大要を紹介します。

TPP交渉からの撤退、雇用と経営の安定、農林水産業の再生と食糧自給率50%の回復、農家経営を直撃する米価低下に対する緊急の対策を求めます。

民の願いと真逆の政治にストップをかけるために闘います。

北海道10区日本共産党政策委員長 木村けんじ氏の決意

「私たち一人一人は微力ですが、無力ではありません。私は、当然のことですが高校採用時には日本国憲法遵守を誓い、平和を守り、子どもがすこやかに成長していくことに力をつくすこと、先輩教師の痛苦の反省を学びうけつぎました。」

憲法を暮らしに生かす、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回、戦争できる国づくりストップを求めます。

誰かが働き口を得て、人間らしい暮らしが保証できる雇用と最低賃金実現、ブラック企業への規制で雇用環境の改善を求めます。

民意にこたえる政治、民主主義を守るまともな政治の実現を求めて闘います。

政治をゆがめる企業・団体献金の禁止、政党助成金の廃止を

教え子を戦場にいかせないとの信念で35年間、北海道の現場で頑張ってきました。親・保護者の願いと一致する教育活動は何よりも大事にしてきました。

#### 現状について

多数の国民から解問・怒りが噴出しています。安倍自公政権は、時がたてばたつほど国民世論に追いつめられることか

#### 消費増税中止を

10%へのさらなる消費増税を、先送りではなくキツパリ中止すること。税金は、所得と資産に応じて負担する「応能

#### 戦争できる国づくり

憲法を暮らしに生かす、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回、戦争できる国づくりストップを

#### 再生可能エネルギー普及を

原発も核のゴミもいらぬ、再生エネルギー普及を求めます。

#### 企業・団体献金の禁止、政党助成金の廃止

政治をゆがめる企業・団体献金の禁止、政党助成金の廃止を求めます。

#### 国民こそ主人公の政治

国民こそ主人公の政治への転換をめざして闘います。

負担の原使がなくても、「海外企業の内留保を賃上げと安定雇用、中小企業支援にまわして家計を暖めてこそ、家計をよくし、社会保障の財源を生

第三に TPP交渉からの撤退・雇用と経営の安定を

「新たな原発安全神話」をつくり、原発輸出のトップセールス、再稼働の政治を推進しています。国

政治への転換をめざして闘います。道民の願いにこたえる政治の実現は、北海道での衆議院議席の獲得でこそ前進で

暴走政治ストップをかかげて闘います」と力強く決意表明しました。

夕張音楽協会

第5回「市民音楽の夕べ」開催

11月15日アイレレ会館大ホールにおいて第25回「市民音楽の夕べ」が開催されました。



プログラムはDVDビデオ鑑賞、続いて女声合唱コール・リラとポピー、夕張市民吹奏楽団、最後は混声合唱 リンデンコールの演奏でした。中でもリンデン会員の松平和也サクソフオン独奏と古城一樹テノール独唱はホールいっぱい響かせ参加者に感銘を与えました

(DVDビデオ解説者レコード愛好会浦崎勝子さん)



くずさんの夕張歴史散歩⑦

夕張・飯場と坑夫 ②

北海道炭鉄道会社(北炭)として発足した夕張炭山。開坑当時から坑夫の募集(労働力の供給)を飯場主に頼り、日常の稼働も飯場に手綱を握られていました。飯場頭の手加減一つで現場での生産に直接影響していました。

その後、坑夫も増え飯場もその数々\*を増やします。主な飯場として斜坑の上(社光)に松尾飯場と石川飯場が、第一斜坑坑口付近(旧西斜坑・現花畑牧場の売店の川向い付近)に奈良飯場、恩村飯場があったとされています。また高松には大塚飯場と石神(石亀との説もある)飯場があって、主に坑外の設備工事を請け負っていました。

本格的な出炭が始まる1892年(明治25年)頃になると北炭は、「鉱夫就業心得」「鉱夫使役規則」「鉱夫救恤規則」を決めて飯場に対して権限の縮小をはかります。このような飯場に対する会社の圧力が、前出の「坑夫騒動事件」の背景にあったとされています。

理事「井上角五郎」の登用

初代所長の堀基に次いで二代目の社長となった高島嘉右衛門の下で、34才の若さで理事に付いた「井上角五郎」(明治26年5月就任)2\*は、辣腕をふるいます。

\*北炭七十年史によると、「組長(飯場頭)は四十数名もおり」p.5とあるが、夕張市史の古老の話などによると、4か所とか9か所などと読める。

2\*井上の経歴は、北炭七十年史によると、慶応義塾に学び卒業、後日、朝鮮政府顧問官となる。日韓合併の謀議が漏れて米国に逃れ・・・とある。甲申政変に関与し日韓併合の裏工作に暗躍した事がうかがえる。

訂正 10月19日付けの「夕張初のたたかい③」で、料亭北海楼の位置「栄橋の近く」としましたが、正しくは「労働会館の前のカレーそばで有名な旧『藤の屋』さんのところ」でした。



はたやま 和也 「かけある記」  
日本共産党北海道委員会書記長

はたやま 和也

胸を張って「比例は共産党」と

赤旗まつりで比例予定候補として発表されてから初めての「かけある記」ですが、のん気なあいさつを書いている場合ではなくなりました。いろいろ言うまでもなく、勝つしかありません。小選挙区の予定候補ともども、ご支援を心からお願います！

街頭宣伝の合間をぬって、北海道電力へ要請にも行きました。担当の方は「値上げをして申し訳ありません」と言いながら、最後は「泊原発を再稼働できれば料金を下げます」とくり返します。私は「脅しのようなことを言っちゃダメだ。道民の多数が再稼働反対なのだから、北電として心を入れ替えて『自然エネルギーを広げます、でも支援がないとできないんです』と言うのなら、私たちも北電を応援するし国にもモノ言うんだ」と訴えました。

どの党、議員が、生活の苦しさを直接に訴えてきたのでしょうか。安倍政権の暴走に、どの野党が立ち向かってきたのでしょうか。新しい政治に変える政策や、これまでの行動を訴えられるのは日本共産党だけだと、私は胸を張って全道をまわりたい。

企業・団体によるカネの力でなく、党員・後援会員のみなさんの力があっての日本共産党です。ご近所・お知り合いに話をしてもらい一枚一枚チラシを配り、ご支援の輪を広げていただいています。ワインやウチワを配る政党には、どうしても負けれません。

必ず北海道から、くらしと平和の声を伝える日本共産党の議席を！ お力添えをお願いします！